



開催日：毎月第1木曜・第3火曜
午後4:30～8:00
場所：西区上新米町3-4-83
喫茶けやき
参加費：200円
主催：けやき食堂運営委員会
問い合わせ先：喫茶けやき
025-260-7798 (会田)

全国的に話題になっていく子ども食堂が西
区にオープンしました。
平成27年11月に準備会を立ち上げて、平成
28年4月より西区上新米町の喫茶けやきにお
いて、準備会メンバーや地域の住民、企業・
団体や大学生などのメンバーが集まり、月2
回のペースで運営をしています。
放課後、子どもだけで家にいなければなら
ない時などに過ごせる居場所、子どもが気
軽に遊びに来て、宿題をしたり、体遊びをし
たり、夕ご飯と一緒に食べることがあります。
伺った日は、焼き海苔のいい香りが店内いっ
ぱいに広がり、エプロンと三角巾をつけたス
タッフが手際よくおにぎりを作る姿が見られ
ました。美味しい食事をたくさんの人と一緒に
楽しく食べることができ、ここに来れば元
気になれる。そんな場所ではないかと思いま
した。もちろん大人だけや親子での参加も大
丈夫です。お気軽に参加してみたいかがで
しょうか？

ゆるぎない子ども食堂




お知らせ H28年度西区自治協議会提案事業 高齢化をテーマにした講演会
鎌田寛講演会×(仮称)本州東日本西区長サミット
の開催のお知らせ

日時 平成28年9月11日(日)午後1:30～(開場1:00)
会場 西新潟市民会館 2階多目的ホール
講師 医師・作家、諏訪中央病院名誉院長 鎌田 寛氏
定員 300名 **参加費** 無料

第1部 基調講演(自治協議会提案事業)
『地域で命を支える』～地域包括ケア・健康・絆を考える～

第2部 パネルディスカッション
『(仮称)本州東日本西区長サミット』
近隣政令市西区長が集い、鎌田先生のもと、
情報共有と検討を深めます。



詳しい内容やお申込み方法などは、8月頃に、ホームページ、チラシ、西区だよりなどでご案内いたします。

とっておきの一枚

・タイトル
雪梁舎の装い
・コメント
美術館に彩りそえる

氏名
蓮の花
笹川 悦夫



募集 しています

◆あなたの「自慢の写真」(家族・ペット・風景・イベント等)に住所・氏名(氏名は必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。(電子メール可)◆採用者には千円の図書カードを贈呈。◆応募された写真は返却しません。◆締め切り8月末日(次号掲載予定)◆送付先/広報紙1面の「事務局」あて。

パソコン・スマートフォンでもご覧になれます！
Web版西区を豊かに (西区役所ホームページ内)

西 区を豊かに

第18号

発行者 新潟市西区自治協議会
会長 岩脇 正之
事務局 〒950-2097
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
E-mail: chiiki.w@city.niigata.lg.jp

西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

自治協 提案事業 とは!! 企画から事業評価 までのプロセス

超高齢社会を迎えて、地域の生活課題は多様となり複雑化しています。新潟市では市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、特色ある区づくり予算のひとつとして、区自治協議会の企画提案を、その主体的な取組みのもとに事業化する制度を創設しています。

本号ではその基本的な枠組みについてご紹介します。
まず最初に、自治協議会の委員から地域課題を解決するためのアイデア・意見を募集します。集まったアイデア・意見を各部会に振り分けて議論し、さらに各部会独自の課題解決のための自治協議会提案事業を企画し、自治協議会全体会の審議を経て正式に決定します。
提案事業の件数には制限はありませんが、事業費全体の予算は500万円となっています。また、事業実施後にそれぞれの提案事業ごとに事業評価を行ってこれを公表しています。
事業評価書の項目は、「事業の実施実績」「地域課題の抽出とその解決策」「アンケート結果」「良かった点」「改善点」「今後の課題」などです。
公表は、インターネットで「新潟市」を検索し、トップ画面にある「区役所ホームページの西区」をクリック、次に西区の取り組み「西区自治協議会」をクリック、次に右記画面の「区自治協議会提案事業」をクリックすると、それぞれの事業評価書の内容がご覧いただけます。



自治協議会全体会での審議は、以下のとおりです

- 6月 …… 特色ある区づくり予算について、アイデア・意見募集
- 7月 …… アイデア・意見のまとめと担当部会の振り分け
- 8月 9月 10月 …… 各部会で自治協議会提案事業案を審議
- 11月 …… 自治協議会提案事業の予算原案決定
- 3月 …… 新年度予算案決定
- 翌年度 …… 自治協議会が主体となって各提案事業を実施 (事業実施後：各部会で事業評価を実施、事業評価書の作成)
- 3月 …… 自治協議会提案事業の事業評価書(案)の承認


2面3面に特集を組んでいますので、こちらを挟んでね。



すいかのおやぶん

五十嵐小学校区 コミュニティ協議会

当コミュニティ協議会は西に日本海、東に西大通りに囲まれ南端は新潟大学、北端は寺尾中央公園北端に囲まれた長さ3km、幅1kmの砂丘斜面に広がる21自治会、約5100世帯の街です。松林と点在する畑が、高度経済成長期に一気に住宅地として生まれ変わった地帯です。
当協議会の活動は、生活インフラ整備が大きなテーマとなっており、「海岸保安林保全整備」「狭隘道路解消に向けたモデル事業化」「通学路等の安全確保対策」「ふうせんクラブ」「地域の茶の間支援」など世代世帯間交流事業を5部会が中心となり頑張っています。美しい「日本海と砂丘」、自然と人に優しいこの地に来てみてください。(事務局長 増田 正)



編集後記

今回は自治協提案事業について詳しくとりあげました。各部会では提案事業だけでなく、地域課題が解決できるように話し合いや勉強会も行っています。
さて、今号より左綴じになり装いもあらたになった広報紙はいかがでしたでしょうか。これからも興味を持ってご覧いただけるようにメンバー一丸となって頑張ります。(渡辺美弥子)

知恵と力を出し合い 住みよいまちに!

西区自治協議会が
取り組んでいる主要事業

西区自治協議会では、次の6項目が主要事業として提案・採択された。

- 小・中学校における防災に関する公開授業 (第1部会)
- 高齢化をテーマにした講演会 (第2部会)
- スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業 (第2部会)
- 西区の特産物・観光地カレンダー作成 (第3部会)
- 商店街活性化に向けた研究・実践 (第3部会)
- 第4回西区アートフェスティバル (プロジェクトチーム2)



「高齢化をテーマにした講演会」は、9月に諏訪中央病院名誉院長の鎌田寛氏をお招きし、お話いただきたいと準備にはいつている。

「西区の特産物・観光地カレンダー作成」は、掲載する写真を公募しようと既に募集を行った。

「第4回西区アートフェスティバル」は、音楽等のステージ発表に加えて、アート作品の展示も行う方向で検討をすすめている。

以上3事業の計画詳細については、そのつど広報で案内していく。

またこれら事業の昨年度の実施状況については、西区自治協議会広報紙「西区を豊かに」の第15号・16号に掲載済みである。

そこで当18号では、これまで広報紙でご紹介できなかった3つの事業「小・中学校における防災に関する公開授業」「スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業」「商店街活性化に向けた研究・実践」の内容を紹介し、区民の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと記事を組んでみた。

商店街活性化に向けた研究・実践

昨年度の新潟市自治協議会委員研修会の第5分科会(商工業)における意見交換会や第3部会(農林水産業、商工業、交通等に関連する分野を担当)での検討の中で、商店街の活性化がたびたび話題にあがった。

商店街の活性化については、すでに西区拠点商業活性化検討委員会が設置され、調査に基づいて、平成27年度から5ヶ年計画で「西区拠点商業活性化推進事業計画」が策定され、現在、鋭意取り組まれているところである。

提案事業の候補として、委員から多数の案が出されたが、西区には新潟大学や新潟国際情報大学が立地し、新潟市の8つの区の中で学生数がダントツに多い(12,000名をこえる)地の利を活かし、若者の視点を取り入れ、地元の商店街等の活性化について両大学の学生たちと連携して実践的な研究に取り組むこととなった。

具体的には、大学での授業や研究をふまえ、商店街への現地調査、関係機関や店主へのヒアリングなどを行いながら、事業計画の企画案づくりを行い、店主や商工会関係者等へ提案を行っていく。前記の推進事業計画と連動しながら、今年度は試行的に内野地域の商店街で実施していく予定である。



小・中学校における防災に関する公開授業

第4期 西区自治協議会成果と課題(平成25・26年度)の中で第1部会(防犯、防災、自然環境、住環境等に関連する分野を担当)の成果として、東日本大震災により、防災意識が高まる中、今回は特に津波対策について議論した。また、さらなる意識向上を図るため、「防災講演会 津波に負けない災害文化」を開催した。講演会は盛況であり、継続的に防災(地震、津波対策)について深めていききっかけになった。これにより、区民の防災に対する意識が向上し、自主防災組織結成率の増加、地域での防災マップ作成数向上につながった。

課題として、防災について、意識啓発を図るために講演会を開催するほか、地域での防災を学校と連携して学び、教育にも生かしていくことが必要である。

第5期西区自治協議会提案事業として、「小・中学校における防災に関する公開授業」について協議する中で、「防災・防犯」に関する課題の検討について【これまでの経過】が示された。



【経過】

第2期 (平成22年)西区15コミュニティ協議会担当者の議論した課題のなかで「防災に係る西区全体の課題」>「防災意識の啓発を検討すべき」とし、「子どもや学校を巻きこんでの意識啓発」と提案

第3期 (平成23年)上記検討会で出された課題について議論
区内の自治会長・町内会長を対象とした「地域防災に関するアンケート」を実施⇒アンケート結果を踏まえ、課題への対応方針をまとめ、自治会長・町内会長・コミ協へ報告書を送付

第4期 (平成25年)新たな津波被害想定が示されることとなったことから、津波対策について議論⇒防災意識の向上めざし、講演会を実施
(平成26年)市が学校との連携モデル事業の実施を始めたことから、学校との連携について議論⇒学校との連携を始めるため、自治協提案事業として公開授業を計画

第5期 (平成27年)特色ある区づくり事業として「小・中学校における公開授業」を実施
(平成28年)同じく、中野小屋中学校、青山小学校で公開授業を予定

スポーツ鬼ごっこ・普及啓発事業

第2部会(保健福祉、文化、教育等に関連する分野を担当)で平成27年度に新たに取り組んだ事業である。「誰もが楽しめるスポーツ」として全国的に広がり始めているスポーツで、屋内で行えるスポーツであることから、屋外スポーツが減少する新潟の冬場にぴったりのスポーツである。しかし、知名度はまだ高いとは言えない。

受講者からは「激しく楽しい遊びという雰囲気がとても良かった」「チームで協力したり、戦略を考えて仲良くなれた」という感想が上がったほか、誰もが気軽に参加できることから、これから広く普及されることを願う声もあった。

そこで西区では、「青少年の健全育成・基礎体力の向上」「コミュニケーション能力・チームワークの向上」「運動が苦手な子どもや大人へのスポーツの場の提供」「子どもたちの考える力や創造力・想像力を鍛える」の4項目をねらいとして挙げ、3級ライセンス講習会・見学会を開催した。これに20代から70代の計25名が受講した。

平成28年度も引き続き、体験会の内容をより一層充実させて実施する。

